



武蔵野市

応援しよう! まちぐるみの支えを

ケアオリンピック 武蔵野 2025

特設サイトは
こちら



ケアオリンピック武蔵野

2025

プログラム・抄録集



日程 令和7年11月29日(土)
会場 武蔵野スイングホール

参加者アンケートにご協力をお願いします。

回答フォームはこちら



目次

● ご挨拶	P02
● 開催概要	P04
● 主催者概要	P05
● 協力事業所一覧	P06
● 会場のご案内	P07
● プログラム・タイムスケジュール	P09
● 永年従事者表彰式	P11
● 演題発表	
・『大丈夫、機能訓練指導員がいます!～機能訓練指導員の関わりとお墓参り実現への取り組み～』 医療法人社団陽和会 介護付有料老人ホーム コートローレル	P15
・『【共助力を強化する多世代交流の実践】～避難所で「動いて支え合う」復興支援プログラム～』 むチューいきいきサロン・杏林大学	P16
・『母の元気で輝く顔をもう一度見たい!～食べることで輝く人生を取り戻せるとご家族ご家族とともに信じての支援を試みて～』 有限会社多摩たんぼぼ介護サービスセンター ナースケアたんぼぼの家	P17
・『増え続ける介護の人材不足、介護現場の実際とやりがいとは?現場職員に聞いた、介護の“やりがい”と“長く働ける理由”』 介護付有料老人ホーム シルバーシティ武蔵境	P18
・『「武蔵野市内ではたらき隊」福祉サービス事業所取材による効果』 公益財団法人武蔵野市福祉公社(部署:武蔵野市地域包括ケア人材育成センター)	P19
・『ゆるく愉しく つながりセール』 NPOグレースケア	P20
・『職場が変わった!離職者0表彰を受けた介護施設「笑い江戸小唄」を活用した協働介護レクの実践例&簡単に日常すぐ出来ること』 一般社団法人江戸小唄つながりコーチング	P21
・『「紙で作れる!輪ゴムでっぽう」について』 成蹊大学ボランティアサークルUni.	P22
・『離れていても笑顔は繋がる ーコロナ禍を経た行事 Before/Afterー』 社会福祉法人徳心会 特別養護老人ホームさくらえん	P23
・『SHIIP.LLC 設立からの軌跡～設立から今日まで、そしてこれからの展望～』 訪問介護ステーションえんとす	P24
・『通所リハビリから広げたい地域との交流にチャレンジ中』 介護老人保健施設 サンセール武蔵野	P25
● 2F特別企画	P26
● スタンプラリー	P27
● 出展・展示コーナー	
・フロアマップ	P30
・食べて知る介護食コーナー/あなたの血管年齢は何歳?健康チェック	P31
・介護川柳の展示/福祉用具展示	P32
・キラキラ介護美容・ネイル/フォトスポット	P33
・介護サービス選定ゲーム/紙で作れる!輪ゴムでっぽう	P34
・骨格タイプ別診断/演題発表ポスターセッション	P35
● 武蔵野市事業者連絡会紹介	
・武蔵野市居宅介護支援事業者連絡協議会	P38
・武蔵野市訪問介護事業者連絡会	P38
・武蔵野市訪問看護・訪問リハビリテーション事業者連絡会議	P39
・武蔵野市通所介護・通所リハビリテーション事業者連絡会議	P39
・武蔵野市介護老人福祉施設長会	P40
・武蔵野市PT・OT・ST協議会	P40
・福祉用具事業者連絡会議	P41
● ケアリンピック武蔵野のあゆみ	P42



ご挨拶



武蔵野市長
小美濃 安弘

日頃より、武蔵野市の高齢者福祉施策ならびに介護保険施策にご理解とご協力をいただき、心から御礼申し上げます。

また、現場でご尽力されている介護・看護関係者の皆さまや、高齢者の日常生活を支える様々なサービスに従事されている皆さまに心より感謝申し上げます。

「ケアオリンピック武蔵野」は、「広げよう!まちぐるみの支え合い」をキーワードに平成27年(2015年)から開催し、今回で10回目となります。介護や看護に従事する方がたが誇りとやりがいをもって働きつづけられるように、また人材の確保に寄与するよう介護・看護の現場の方々が実行委員会を立ち上げて多彩なプログラムを用意いただいています。まさにこのイベント自体も本市の「まちぐるみの支え合い」を象徴する取組みと言えます。

高齢者人口がピークを迎える2040年に向けて、地域包括ケアシステムの推進・強化が求められています。本市では、「武蔵野市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画」を策定し、その中で、“いつまでもいきいきと健康に”“ひとり暮らしでも”“認知症になっても”“中・重度の要介護状態になっても”誰もが住み慣れた地域で生活を継続できるまちを目標に掲げ、その実現に向けて“高齢者を支える人材の確保・育成”に取り組んでおります。

また、市内の介護事業所へ就職し、やりがいをもって働き続けていただけるよう、「介護職・看護職Reスタート支援金事業」や「介護人材確保・定着支援金支給事業」などの支援も行っています。

本日のケアオリンピック武蔵野にお越しの皆様、WEBを通じてご覧いただいている皆様におかれましては、本市の介護・看護を最前線で支えていただいている事業所の先進的取組みや活動などに触れ、今後も本市の介護・看護の向上にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

開催に向け、ご多忙な中、準備を進めていただいた実行委員会の皆様や、協力・協賛いただいた関係各機関、事業者等の皆様に心から感謝申し上げますとともに、この『ケアオリンピック武蔵野2025』が、本市における「まちぐるみの支え合いの仕組みづくり」推進の一助となることを、大いに期待しております。



ケアリンピック武蔵野2025実行委員会 委員長 山本 真史

ケアリンピック武蔵野は今年で10年目の節目を迎える事となりました。

2015年より10年間、本当に多くの方が武蔵野市における介護との向き合い方を改めて考える機会や、介護をこれまでよくわからなかったという方に知っていただく非常に重要な機会として取り組みを行ってまいりました。

また、ケアリンピック武蔵野の開催を通じて業界内においても専門職同士で繋がる機会も多く生まれ、地域の日々のケアにも多職種連携という形で多くの成果を作り上げてきました。

昨今の様々な社会問題が取り巻く中、介護・福祉の業界も沢山の課題を抱えながらも、一方で絶対的に必要な価値を増していくものと思われまます。そうした中で迎えた10年目となる今年のケアリンピック武蔵野2025では〈今後〉を見据えて人材確保や若い層の活躍に対してのフォーカスをこれまでよりも強めました。実行委員会に若手にも多く参加していただき、これまでの伝統や成果は大切にしながらも、新しい取り組みや新しい層の来場を生み出す工夫をしていきたいと会議を重ねてまいりました。

これからのケアリンピック武蔵野が更に進化を遂げ、より多くの方に楽しんでいただきながらも、介護や福祉というものを知っていただくことで、新たな働き手の獲得や業界のイメージ転換が少しでも進むことを期待しております。また、介護サービスを利用する方々、サービスを提供する方々、行政と民間が一体となってみんなで笑顔を紡いでいける節目にふさわしいケアリンピック武蔵野に出来たらと考えております。

今年は特に目玉として『介護インフルエンサー』の方にご協力をいただくとともに、『地域のキッズダンサー』、未経験の方も多く参加する『KID(介護・医療・ダンス)チーム』によるダンスでイベントを盛り上げるなど、若手参加型のイベントを意識した構成となっておりますので、是非皆様にもお楽しみいただけますと幸いです。

【広げよう!まちぐるみの支え合い】の合言葉にふさわしく、多くの方が手を携えながら、まちぐるみで互いを支え合える武蔵野市となっていける事を切に願っております。

最後に、今年も多くの団体の皆様にご協力をいただき実現したケアリンピック武蔵野2025となっております。

協賛・ご協力団体の方々がどれほどいてくださるのか、是非抄録集内の協力団体一覧にもお目通しください。ケアリンピック武蔵野2025の開催に向けて多くのご助力を賜りました皆様に心より厚く御礼申し上げます。



開催概要

■名称: ケアリンピック武蔵野2025

■目的: 永年介護現場で市民生活を支え続けた介護職員等が、先進的な取組みを紹介し、互いに研鑽、称賛する場としてケアリンピック武蔵野2025を開催します。武蔵野市版地域包括ケアシステム「まちぐるみの支え合いの仕組みづくり」に向けて、介護や看護に従事する方たちが誇りとやりがいをもって働きつづけられることや、人材確保・育成の推進に寄与することを目的としています。

■日時: 令和7年11月29日(土)
午前10時から午後4時まで

■会場: 武蔵野スイングホール
(〒180-0022 東京都武蔵野市境2-14-1)
2階スイングホール
11階レインボーサロン

武蔵野市動画チャンネル
(YouTube)でオンライン配信と
アーカイブ配信を行います。



■参加対象: 介護及び看護事業者、介護・看護に従事する方、福祉の仕事に興味・関心のある方、市民、学生、その他どなたでも参加可能

■参加費: 無料

■プログラム概要

【2階スイングホール】
○永年従事者表彰
○演題発表
○表彰式
ORB-SOULによるダンスパフォーマンス
OKID～介護・医療連携ダンス～

【11階レインボーサロン】
○演題発表のポスターセッション
○介護食コーナー
○血管年齢測定・ベジチェック
○介護川柳の展示
○福祉用具展示
○キラキラ介護美容・ネイル
○骨格タイプ別分析
○介護サービス選定ゲーム
○紙で作れる!輪ゴムでっぽう

【全体】
○スタンプラリー
○はたツアー(計2回開催)

■主催: ケアリンピック武蔵野2025実行委員会

■共催: 武蔵野市

■後援: 一般社団法人武蔵野市医師会
公益社団法人東京都武蔵野市歯科医師会
一般社団法人武蔵野市薬剤師会
武蔵野市柔道整復師会
武蔵野赤十字病院
社会福祉法人武蔵野
公益財団法人武蔵野市福祉公社
公益財団法人武蔵野健康づくり事業団
社会福祉法人武蔵野市民社会福祉協議会
公益社団法人武蔵野市シルバー人材センター

■協力: 杏林大学、武蔵野市居宅介護支援事業者連絡協議会、武蔵野市訪問介護事業者連絡会議、武蔵野市訪問看護・訪問リハビリテーション事業者連絡会議、武蔵野市通所介護・通所リハビリテーション事業者連絡会議、武蔵野市介護老人福祉施設長会、武蔵野市福祉用具事業者連絡会議、武蔵野市PT・OT・ST協議会
この他、本抄録集P06に掲載

主催者概要



ケアリンピック武蔵野 2025 実行委員名簿（敬省略）

役職	氏名	所属事業所	サービス種別	担当
実行委員長	山本 真史	合同会社SHIIP 訪問介護ステーションえ〜とす	訪問介護 (訪問介護事業者連絡会議)	統括
副実行委員長	市川 智文	公益財団法人武蔵野市福祉公社 武蔵野市立高齢者総合センターデイサービスセンター	通所介護 (通所介護・通所リハ事業者連絡会議)	2階 スイングホール
副実行委員長	柴田 博子	株式会社ベネッセスタイルケア グランタ武蔵野 式番館	特定施設入居者生活介護 (公募)	11階 レインボーサロン
副実行委員長	二木 恒星	合同会社SHIIP 訪問介護ステーションえ〜とす	訪問介護 (公募)	2階 スイングホール
副実行委員長	古谷 太一	株式会社日本介護センター 日介センター吉祥寺	福祉用具貸与・特定福祉用具販売 (公募)	11階 レインボーサロン
実行委員	石田 良子	公益財団法人武蔵野市福祉公社 ホームヘルプセンター武蔵野	訪問介護 (訪問介護事業者連絡会議)	2階 スイングホール
実行委員	泉谷 健太	株式会社太平洋シルバーサービス	本社 (公募)	2階 スイングホール
実行委員	伊藤 沙姫	公益財団法人武蔵野市福祉公社 武蔵野市立北町高齢者センター	通所介護 (公募)	2階 スイングホール
実行委員	伊藤 誠	株式会社ささえ 訪問看護ステーションささえ吉祥寺事業所	訪問看護 (公募)	11階 レインボーサロン
実行委員	浦山 佳代	株式会社ティーオン ティーオン訪問看護ステーション	訪問看護 (訪問看護・訪問リハ事業者連絡会議)	11階 レインボーサロン
実行委員	江頭 尚幸	株式会社FiveTrees 陽だまり訪問看護ステーション武蔵野	訪問看護 (訪問看護・訪問リハ事業者連絡会議)	11階 レインボーサロン
実行委員	小嶋 敏之	株式会社太平洋シルバーサービス	特定施設入居者生活介護 (公募)	2階 スイングホール
実行委員	高野 秀也	株式会社ZERO CREATE 訪問看護ステーションけやき	訪問看護 (訪問看護・訪問リハ事業者連絡会議)	11階 レインボーサロン
実行委員	石岡 久美子	合同会社SHIIP 訪問介護ステーションえ〜とす	訪問介護 (公募)	11階 レインボーサロン
実行委員	新居 恵理子	アースサポート株式会社 アースサポート武蔵野	居宅介護支援 (居宅介護支援事業者連絡協議会)	11階 レインボーサロン
実行委員	馬場 奈緒子	公益財団法人武蔵野市福祉公社 総務課	福祉公社 (公募)	2階 スイングホール
実行委員	堀田 勝	社会福祉法人 徳心会 特別養護老人ホームさくらえん	介護老人福祉施設 (介護老人福祉施設長会)	2階 スイングホール
オブザーバー	浅野 彰	株式会社日本介護センター 日介センター吉祥寺	訪問介護 (訪問介護事業者連絡会議)	2階 スイングホール
オブザーバー	三木 明美	公益財団法人武蔵野市福祉公社 武蔵野市地域包括ケア人材育成センター	訪問介護 (訪問介護事業者連絡会議)	2階 スイングホール
オブザーバー	古川 洋高	医療法人社団陽和会 介護付有料老人ホームコートローレル	特定施設入居者生活介護 (公募)	11階 レインボーサロン
	吉田 竜生	武蔵野市	高齢者支援課長	事務局
	伏谷 寿洋		高齢者支援課介護保険係 介護サービス担当係長	
	有若 美優		高齢者支援課介護保険係 介護サービス担当主事	
	吉川 幹紘		高齢者支援課介護保険係 介護サービス担当主事	



協力事業所一覧

【協力団体・事業者】

合同会社SHIIP 訪問介護ステーションえ～とす

株式会社ベネッセスタイルケア グランダ武蔵野式番館

株式会社日本介護センター 日介センター吉祥寺

ホームヘルプセンター武蔵野

株式会社太平洋シルバーサービス

株式会社ささえ 訪問看護ステーションささえ

ティーオン訪問看護ステーション

株式会社FiveTrees 陽だまり訪問看護ステーション武蔵野

訪問看護ステーションけやき

社会福祉法人徳心会 特別養護老人ホームさくらえん

武蔵野市地域包括ケア人材育成センター

医療法人社団陽和会 介護付有料老人ホーム コートローレル

武蔵野市中央地区商店連合会

ナースケアたんぼぼの家

医療法人社団美誠会 介護老人保健施設 サンセール武蔵野

NPOグレースケア

一般社団法人江戸小断つながりコーチング

ダンススクールRB-SOUL

はたつん

東京消防庁 武蔵野消防署

ピジョンタヒラ株式会社

株式会社ベジタルアドバンス

ワタミ株式会社

株式会社伊藤園

株式会社 明治

明治安田

ラヴィーナ株式会社

一般社団法人GIFT協会

フランスベッド(株)メディカル田無営業所

株式会社FiveTrees 陽だまり福祉用具



会場のご案内



会場のご案内

【会場】

武蔵野スイングホール

JR武蔵境駅 北口 徒歩1分

〒180-0022 東京都武蔵野市境2-14-1



【2階スイングホール】

- 永年従事者表彰
- 演題発表
- 表彰式
- ORB-SOULによるダンスパフォーマンス
- OKID～介護・医療連携ダンス～

【全体】

- スタンプラリー
- はたツアー(計2回開催)

【11階レインボーサロン】

- 演題発表のポスターセッション
- 介護食コーナー
- 血管年齢測定・ベジチェック
- 介護川柳の展示
- 福祉用具展示
- キラキラ介護美容・ネイル
- 骨格タイプ別分析
- 介護サービス選定ゲーム
- 紙で作れる!輪ゴムでっぽう



プログラム



タイムスケジュール

タイムスケジュール

日時: 令和7年11月29日(土) 午前9時30分開場 午前10時から午後4時まで

場所: 武蔵野スイングホール/2階スイングホール/11階レインボーサロン

2階スイングホール

午前9時30分	開場
10時00分	開会式
10時15分	永年従事者表彰式
11時15分	KID~介護・医療連携ダンス~
11時30分	演題発表
午後0時15分	休憩 ※スクリーン上映あり
1時00分	演題発表
2時00分	演題発表表彰式
2時15分	介護川柳表彰式
2時30分	RB-SOULダンスパフォーマンス 介護系インフルエンサーはたつんによるスペシャル企画 KID~介護・医療連携ダンス~
3時45分	閉会式
4時00分	閉場

※進行の都合により時間が前後する場合があります

11階レインボーサロン

午前10時00分	開場
各展示・企画は開場から閉場まで継続して実施されます	
午後4時00分	閉場



永年従事者表彰式



介護・看護職員永年従事者表彰

会場：2階スイングホール 時間：午前10時15分から11時15分

内容：介護保険サービスを提供する事業者から推薦された、武蔵野市民を対象に15年以上働く、介護・看護職の皆さんを表彰します。

介護・看護永年従事者表彰・受賞者一覧（敬称略）

事業所名	氏名	事業所名	氏名
医療法人社団陽和会 介護老人保健施設 ハウスグリーンパーク	眞坂 まゆみ	株式会社太平洋シルバーサービス シルバーシティ武蔵境	鶴岡 裕子
	福島 愛子	株式会社太平洋シルバーサービス シルバーシティ武蔵野	山瀧 聖子
	渡邊 直雅	株式会社太平洋シルバーサービス シルバーシティむさしの櫛館	丸島 良太
	松野 裕子		小山 健太
医療法人社団ゆうの会 むさしの共立診療所ケアプランセンター	佐藤 敦	社会福祉法人正寛会 特別養護老人ホーム ケアコート武蔵野	石原 綾子
株式会社日本介護センター 日介センター吉祥寺	浅野 彰		高橋 美奈子
公益財団法人武蔵野市福祉公社 高齢者総合センターデイサービスセンター	本橋 久美子		竹内 輝子
社会福祉法人徳心会 特別養護老人ホームさくらえん	田中 香恵子	社会福祉法人武蔵野 ゆとりえ在宅介護・地域包括支援センター	樋口 加織
社会福祉法人徳心会 居宅介護支援事業所さくらえん	有賀 浩美	有限会社愛心介護サービス 有限会社 愛心介護サービス	坂田 元美
公益財団法人武蔵野市福祉公社 ホームヘルプセンター武蔵野	浅見 要子		岡部 理恵子
	高家 美恵子		寺田 未央
	田窪 麻里子	社会福祉法人とらいふ 特別養護老人ホームとらいふ武蔵野	吉沢 英朗
	和田 佑子	社会福祉法人至誠学舎東京 吉祥寺ナーシングホーム	村田 知哉
	坂本 勝枝		松田 美奈子
	奥山 靖子		松嶋 里江子
株式会社太平洋シルバーサービス シルバーシティ武蔵境	恒吉 千鶴子		根本 はづき
	安達 みどり		中村 敦子



演題発表抄録集



演題発表

演題一覧

番号	テーマ	事業所及び団体名	発表形式
1	大丈夫、機能訓練指導員がいます! ～機能訓練指導員の関わりとお墓参り実現への取り組み～	医療法人社団陽和会 介護付有料老人ホーム コートローレル	□演
2	【共助力を強化する多世代交流の実践】 ～避難所で「動いて支え合う」復興支援プログラム～	むチューいきいきサロン 杏林大学	□演
3	母の元気で輝く顔をもう一度見たい! ～食べることで輝く人生を取り戻したく 家族とともに支援する～	有限会社多摩たんぼほ介護サービ スセンター ナースケアたんぼほの家	□演
4	増え続ける介護の人材不足、介護現場の実際とやりがいとは? 現場職員に聞いた、介護の“やりがい”と“長く働ける理由”	介護付有料老人ホーム シルバシティ武蔵境	□演
5	「武蔵野市内ではたらき隊」 福祉サービス事業所取材による効果	公益財団法人武蔵野市福祉公社 (部署:武蔵野市地域包括ケア人材 育成センター)	□演
6	ゆるく愉しく つながれージセール	NPOグレースケア	□演 ポスターセッション
7	職場が変わった!離職者0表彰を受けた介護施設 「笑い江戸小唄」を活用した協働介護レクの実践例 &簡単に日常すぐ出来ること	一般社団法人 江戸小唄つながりコーチング	□演
8	「紙で作れる!輪ゴムでっぽう」について	成蹊大学 ボランティアサークルUni	□演
9	離れていても笑顔は繋がる —コロナ禍を経た行事 Before/After—	社会福祉法人徳心会 特別養護老人ホームさくらえん	□演
10	SHIIP.LLC 設立からの軌跡 ～設立から今日まで、そしてこれからの展望～	訪問介護ステーションえんとす	ポスターセッション
11	通所リハビリから広げたい地域との交流にチャレンジ中	介護老人保健施設サンセール武蔵野	ポスターセッション

大丈夫、機能訓練指導員がいます！

～機能訓練指導員の関わりとお墓参り 実現への取り組み～

介護付有料老人ホーム コートローレル
機能訓練指導員 古川 洋高

目的

当施設では機能訓練指導員として理学療法士(PT)が在籍し、個別の機能訓練以外にも多くの関わりをご入居者様と持つことができています。

リハビリテーション専門職が日常的に関わりを持てる環境で身体機能の回復だけでなく、ご本人とご家族の想いを大切にし『お墓参りに行きたい』という目標を達成することができた。老人ホームという環境の特徴を活かした関わりについて紹介する。

具体的な取り組み方法

- ①対象者: A様 女性 90歳代後半
- ②取組みの具体的な手法: 週1回の個別機能訓練、週2回の集団体操、生活リハビリとしての歩行器歩行や車椅子自走を組み合わせて体力の維持向上に努めた。ご家族への状況報告、本人とご家族の希望の確認、無理の無いペースでの運動提案などご家族とも足並みをそろえて進めていった。
- ③期間: 令和4年6月～令和6年11月



取り組み結果

入居から2年半をかけて令和6年11月にPT同行にて無事にお墓参りに行くことができた。

パーセルインデックス(BI)は入居当時の点数は65点、3か月後には75点と改善がみられ、令和5年11月から80点を維持することができている。加点項目は平地歩行で、歩行能力を維持出来ている。

考察

高齢者の身体機能維持として、転倒等の事故を起こさないことは重要であり、転倒のリスクを抑えながら継続的に生活の中に運動(歩行)を取り入れることができたのは大きな意味を持つものと考えます。

老人ホームという枠組みの中でPTとして期間の制限などが無い状態で関わりを持つことができたことが大きいと感じる。

老人ホームでの機能訓練の関わりとして1人の方に集中して介入することは困難な場面があるが、食堂までの移動をリハビリの時間として活用し必要に応じて動作確認や助言することができるなど時間の枠にとらわれず介入できることは大きな利点であると言える。

今後もお一人おひとりの希望と向き合い、実現を目指していきたい。

倫理的配慮

発表に当たり、ご本人・ご家族へ書面を作成し口頭にて研究・発表に関する説明を行い同意を得た。



【共助力を強化する多世代交流の実践】

～避難所で「動いて支え合う」復興支援プログラム～

【いきいきサロン事業】むチューいきいきサロン:合原聡美

杏林大学保健学部看護学科 講師:古川美和

日本Gボール協会:森更紗

Well-being Care HINATA:荒井芳紀

背景・目的

武蔵野市いきいきサロン事業「むチューいきいきサロン」は、2022年より、地域に暮らす多世代が顔なじみとなり、互いに支え合う力を育むことを目指して活動している。具体的には、毎週土曜日に介護予防や認知症予防を目的とした健康体操を行っている。4年目を迎えた現在では、参加者同士の互助関係が少しずつ形づくられている。この互助関係を活かして、大災害時の避難所生活を想定した多世代交流型の運動プログラムを実施した。本報告では、その実践を紹介するとともに、災害時に高齢者と子どもを含む地域住民同士が互いに支え合う可能性を示す。

方法

①期間、各年の取組みプログラム

2022年～2024年の3年間、毎週土曜開催の「むチューいきいきサロン」活動の一環として、年1回、計3回のプログラムを実施した。

1年目は、高齢者と子育て世代の親子を対象に応急救護体験会を開催し、要介護高齢者の生活知や子育て経験が災害時の重要な資源となる可能性を確認した。2年目は、避難所生活を想定した多世代・多職種連携型の運動プログラムを実施し、高齢者や子どもが「支援される側」から「支援する側」へ役割転換できる意義を明らかにした。3年目は、防災活動としての位置づけを強化し、多様な地域住民が自然に共助の仕組みを形成できる活動モデルの構築を目指した。

②対象者(2024年度の参加者内訳)

いきいきサロン登録高齢者11名、子ども10名、保護者8名、ボランティア9名(うち、大学生ボランティア7名)、運営者1名・講師4名・見学3名

③内容

理論的背景と実践的アプローチを理解することを目的に、復興支援健康プログラムを企画した。

本プログラムでは、老年学、体育・スポーツ学、災害看護学の専門家3名による3つのミニ講義を実施した。くわえて、運動プログラムは、運動講師1名が企画・運営した。ミニ講義では、「みんなでみんなを支援する」、「復興支援における体操の役割」、「災害時の子どもの心理的支援」というテーマを扱った。運動プログラムでは、1歳から90歳までの幅広い世代が参加し、高齢者・子ども・保護者が対等な立場で協力し合えるよう工夫されたものである。参加者は「助ける人・助けられる人」ではなく、「共に支え合う仲間」としての在り方を体験することができた。

結果

運動を通じて地域内で自然な交流が生まれ、世代間の壁を越えて関係性が築かれた。特に高齢者と接点の少ない子育て世代にとって、笑顔や会話を交わす機会となり、災害時の共助につながる意識が育まれた。さらに、高齢者や子どもが一方的に支援を受ける存在ではなく、誰もが地域の支え手となり得ることを実感した。多様な価値観を学び合い、日常的な交流の継続が防災や地域活動への力となる可能性が示された。

考察

運動は世代を超えた交流を生み、平常時からの関係づくりが災害時の共助の基盤となることを示した。さらに、高齢者や子どもも「支援する側」として役割を担えることが明らかとなり、支援の在り方を再考する契機となった。従来の「する/される」の枠組みを越え、誰もが地域の主体として支え合う意識の育成につながることを示唆された。

倫理的配慮

活動開始時、参加者に口頭で本イベントの趣旨と個人情報保護の保護を説明し参加をもって同意とした。

母の元気で輝く顔をもう一度見たい!

～食べることで輝く人生を取り戻したく家族とともに支援する～

看護小規模多機能型居宅介護

ナースケアたんぽぽの家

看護師 千葉 信子

目的

人生100年時代と言われる中で、健康寿命にも悪影響を受けてしまうことさえあります。胃瘻をしても、可能性を探り、リハビリをしてまた食べることができ輝く人生を取り戻すご支援を試みました。

具体的な取組み

- ①対象者：94歳 女性
- ②家族の思い：誤嚥性肺炎の為に入院していたが、高熱が続き、表情も笑顔も消え余命1～2ヵ月と医師に宣告された。母に食べてもらい元気になってほしい。
- ③取組み内容：胃瘻を活用して私たちと共に食べる訓練をしていくことになり、主治医とカンファレンスを行い、本人及び家族の意思確認。万が一この治療がうまくいかない場合もあり得ることを説明しご納得の上、スタッフ全員で対応していく。病院にて胃瘻手術後馴染むために経口摂取はせずにバイタルを1日4回以上見ながらインアウトの確認、排泄の状態、水分不足なくできているかなど細やかな観察をもとに経口摂取に向けて歯科の往診医に内視鏡検査にて問題ないことを確認する。久しぶりの経口摂取は、咽頭のアイシングを行い、アイスを食べて喜ぶ本人、家族の笑顔!!現在は徐々に食事量食事形態をあげていき、ほぼ常食で自力で召し上がられている。

取組み振り返って

たんぽぽでの胃瘻を活用した取組みは20年程続けている。口から食べることへの課題は単なる食ではなく、尊厳と生きる意味に大きく関わる。胃瘻をした人に対して口から食べるための活動の進捗状況はあまり変わらず、胃瘻したための功罪や家族の苦悩は紹介されても本人の苦しみに対する認知は今尚低迷であることは否めない実態ではないだろうか。

私共はこうした経験の中で、ジレンマを感じていたことを大事に育て実践できたことに安堵した。口から食べることで本人も家族も私共も感動を頂いた。食べることを支える大事な仕事だと改めて再認識でき、貴重な学びと有益を感じられた。





増え続ける介護の人材不足、 介護現場の実際とやりがいとは？

～現場職員にきいた、介護の“やりがい”と“長く働ける理由”～

介護付有料老人ホーム シルバーシティ武蔵境

ヘルパー 山口淑江

フロント 高崎波奈

背景・目的

高齢化が急速に進む一方で、介護現場では働き手の確保が追い付かず、慢性的な人手不足が続いている。そのような中でも当ホームでは勤続年数の長い職員が多い。その理由とは何か？ 10年以上勤務している職員や再入職した職員へのインタビュー、会社の各種制度、人材育成等の面からご紹介する。

【働きやすさを支える制度】

- ①ゆとりある人員配置・・・介護保険法に定める人員配置基準の2倍となる 1.5:1 の人員配置。職員1人あたりの負担が軽く、ご入居者様に余裕を持ってサービスをご提供。希望休も取りやすい。
- ②分業体制でケアに専念・・・夜勤や清掃・洗濯に専任スタッフを配置しているため、介護職員はケアに専念でき、ご入居者様お一人おひとりにしっかり寄り添うことができる。
- ③柔軟なキャリアプラン・・・ライフステージに合わせてパート⇄社員の転換が可能で、実際に今年は2名のパート社員が正社員になった。また、スキルアップを目指す方には職種変更も可能。
- ④安心のフォローアップ面談・・・入社後1か月・3か月・6か月・12か月の節目に、本社スタッフによる面談を実施。悩みごとを早期に解消して、安心して働き続けることができる。

やりがいにつながる取り組み

- ①行事の企画は職員主体・・・観桜会、納涼祭、運動会、クリスマスなどは、職員が中心となって企画・実施。ご入居者様の生活に彩りと潤いを与え、楽しんでいただける醍醐味は格別。
- ②永年勤続表彰・・・5年、10年、15年・・・と勤続5年ごとに表彰。長年に亘り真摯に業務に精励された職員に感

謝と敬意を伝える制度。今年は勤続30年の職員を表彰した。

- ③資格取得支援、研修制度・・・資格取得費用や研修費用を会社がサポート。資格取得後は手当を毎月支給し給与にしっかり反映。階層別・職種別研修も充実しており、職員の成長を後押ししている。

職員の声① 勤続14年目・ヘルパー Yさん

「元々サービス職員として見守りや配膳業務に従事していたが、当時の施設長の推薦で介護職へ変更。ご入居者様の笑顔がなによりの“やりがい”だが、給与が上がったことも良かった。フォローアップ面談や月一回の社員ミーティングで意見を言える場があり、特にストレスなく勤務している。」

職員の声② 勤続2年目・ヘルパー Mさん

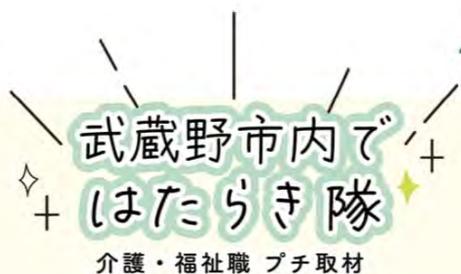
「前職もヘルパー。前の職場ではサークルが塗り絵やお絵描きがメインで大人向けでなく歯痒い思いをしていたが、当ホームでは外部講師によるサークルが日替わりであり、ご入居者様はとても楽しんでいらっしゃる。月1回のイベントは社員が主体となって企画・実施しているため、自分の“思い”や“やりたいこと”を取り入れてもらえる。また、一生懸命携わったご入居者様に名前を覚えてもらえるとてもうれしく、この仕事をしてよかったと思う。」

考察

心から丁寧な対応をするには、自身の心にも余裕がないとできないことだと思う。ご入居者様やそのご家族様から「シルバーさんには対応がとても丁寧で、安心して両親を預けられる」と温かい言葉を頂いている。働きやすさを支える制度の充実や職場環境づくりが、介護のしごとの本来のやりがいや楽しさに繋がっているのではないかと考える。

「武蔵野市内ではたらき隊」

～福祉サービス事業所取材による効果～



公益財団法人武蔵野市福祉公社

武蔵野市地域包括ケア人材育成センター

桑谷美耶子

目的

武蔵野市地域包括ケア人材育成センターでは、介護・福祉人材の確保と定着のための事業を展開している。とりわけ広報・啓発にあたっては、市民が福祉の現場を知り、事業所の存在や魅力を身近に感じてもらえるよう心がけている。今回、市内の福祉サービス事業所を紹介する新たな取組として、現場の職員や働く環境に焦点を当てた取材活動を企画した。

取組方法

2025年2月から3月にかけて、市内の訪問介護、通所介護、介護施設、就労継続B型など複数の福祉サービス事業所を対象に取材を実施した。職員へのインタビューに加え、施設の設備や取り組み、雰囲気なども紹介できるよう、現場を実際に見学して記録した。

取材記事は「武蔵野市介護・福祉事業所一覧」の特集ページにまとめ、同年春に発行した。事業所一覧は例年市民向け資料として配布しており、今回の記事はその中に新たなコンテンツとして加えたものである。

◆肖像権・個人情報への配慮：取材・撮影にあたっては、事業所および職員に対し事前に趣旨を説明し、使用目的や範囲を明確にしたうえで同意書を取り交わした。取材・撮影中も、個人のプライバシーを侵害しないよう十分に配慮した。

結果

市民への広報を最大の目的とした本取組であったが、結果として事業所や当センターにも効果を確認できた。

事業所は、日々の業務に追われるなかで、自ら広報に注力することは容易ではない。当センターが関わることで、事業所にとっては自らの強みを整理し、外部に伝える機会となった。例えば、ある取材先の浴室には大きな鶴のタイ

ル画があり、脱衣所は職員の工夫で昭和中期の雰囲気を演出したポスターや小物が飾られていた。取材時、それらに感動したことを伝えると、担当者は「いつもの風景なので、褒めてもらえるとは驚いた、施設の強みとして見直したい」と話された。日常的环境が取材を通じて新たな魅力として再発見され、市民に向けて発信するきっかけとなった出来事である。

一方、当センターでは、就労相談を受ける際に「実際に見た現場の雰囲気や特徴」を踏まえて案内できるようになり、よりの確な支援に繋がった。来所した相談者には冊子を資料として渡し、写真とともに情報提供することができた。

このような一連の取組みから、市民・事業所・当センターの三者に利益をもたらす企画だったと実感した。

考察

福祉人材の確保や定着には、処遇や制度の改善だけでなく、地域における福祉の現場の魅力を具体的に可視化していくことが不可欠である。本取組では、冊子という身近な媒体を通じて市民に事業所の魅力を届けることができた。あわせて、事業所のエンパワーメントや当センター職員の知見の拡充が見られ、より多面的な成果につながった。

試行的な取組ではあったが、一定の成果と反応を踏まえると、今後も継続していく価値があると考えられる。冊子に加えてSNSなどの媒体を活用することで、より幅広い発信へと展開できる可能性もある。

一方的ではない取材・発信は、市民理解の促進、事業所の発信力強化、そして当センターの支援の質向上につながり、地域包括ケアを支える基盤の一つとなり得る。今後もこうした取組を積み重ねることで、福祉の仕事を地域全体で支え合い、安心して働き続けられるまちづくりに寄与していきたい。



ゆるく愉しく つながれセール

訪問介護 NPOグレースケア
介護福祉士 猪野 牧子

はじめ

ホーム入居を決めた利用者の方から、家のなかの片づけの依頼があり「捨てるのはしのびなく、誰かに譲りたい」というお気持ちを聴いて、叶えたかった。

取り組み方法

武蔵野オフィス前には2台分のガレージがあり、日時を決めて「思い出つなガレージセール」と銘打ち、利用者の方から頂いた不用品、着なくなった洋服、入居やご逝去で譲り受けたものなどを並べて売った。

その後は値札をつけたり、告知する手間を避け、天気を見て並べ、お気持ち箱を置き、自由に持ってもらう形にした。

訪問介護の利用者の方からは、要らないものの他、認知症の方がつい買い過ぎたもの、手芸好きな方が作ったマフラーや水引き、片づけ事業部が入ったご家庭から出た衣類や日用品・民芸品、民家デイでこちゃんの手作りグッズ、社内ヘルパーから趣味の品や実家を整理して出たものなどなど。

そのうち近所の人からも、亡くなった夫のネクタイやスーツ、オムツ類、大きなイスやアイロン、ジョッキグラス、船の模型にシーシャまで、思い出とともに持ち込まれるようになった。

持って行かれる方も様々で、通りすがり親子連れが玩具を、引越したばかりという男性が日用品を、店子が困っているという大家さんが布団を、ほか何か必ず持って行き家のため込んでいそうなおばあさんなどなど。

お気持ち箱には、小銭が入ったり入らなかったりながら、貯めたお金で夜間用ライトを付けたり、近所の利用者さんと開いたリハビリスナックの費用に当てたりした。

事業所では、まとまったものを取りに行くとき車や人

手を出したり、一画を物の保管に使う程度の負担で、天気をみながら気楽に無理のない範囲で行っている。

結果と考察

①まちのつながりが増えた

持ち込む際に思い出話を聴いたり、知らない人とも物を間にすると親しくお喋りする関係ができた。中にはおすそわけでお菓子や果物を下さるという方も。

②介護のきっかけになった

看板などからヘルパー事業所であることは知られ、お困りごとの相談があったり、一人暮らしや障がいのある人が訪ねてきてケアにつながるがあった。

③浮いているものを必要な人へ回せた

ある人の家のなかに余っている物を、貧窮している人に回すことができた。また、物に限らず、手芸の技や趣味、リハビリのアイデアなどを、形にして別の人につながられた。

気ままにゆるく行えるよさを生かし、今後も新たなつながりを愉しんでいきたい。

※個人のプライバシーが侵害されないよう倫理的に配慮しています。



職場が変わった! 離職者〇表彰を受けた介護施設 「笑い江戸小唄」を活用した協働介護レクの 実践例 & 簡単に日常すぐ出来ること



目的

笑い江戸小唄の日常活用法を普及して、ストレスある介護業務の精神的負担を減らし、笑顔の介護士・関係者、利用者支援をして、市内に江戸小唄を活用できる人材を増やし、離職の少ない業界の安心平和な地域再生に貢献する。

具体的な取組み方法

ある介護施設でデイサービスリーダーを中心に、担当職員4名と、弊社から4名の会員が3ヶ月に1度6回、1年半に渡る訪問活動を行なった。このリーダーは弊社の会員で、施設内部で自主的に江戸小唄を継続した。

訪問活動の内容は、弊社会員と共に毎回職員も利用者の前で小唄を発表。利用者も一緒に声を出すという一回1時間のイベントである。職員はそれをきっかけに利用者との日常会話の中でも小唄を話したり、弊社の資料を使っの朝の会やすき間時間に活用して、職員同士の自然な情報交換にも笑顔と自然な笑いが生まれたようである。施設側は、毎回の資料の印刷や利用者への配布、ホワイトボードや高座の設置。弊社からは資料データの提供や、江戸風の飾り、毛氈、座布団を持参し、負担も大きくはなかった。

取組み結果

Before : 朝挨拶をしない、知ってる事も新人に教えないなど、職員のチームコミュニケーションに課題があった。

After : 職員間の風通しが良くなり、相談したり挨拶する声が聞かれ、明るくいい雰囲気生まれた。職員もよく笑い、職場も冗談を言いやすくなった。日常会話と自分の

一般社団法人江戸小唄つながりコーチング

代表理事・研修講師 高野まゆみ

自信につながった。1年半過ぎて、リーダーから「本部から離職者〇の表彰の連絡がありました。江戸小唄をやったからだと思う」との声が届いた。

考察

職員が見るだけの通常1回だけの訪問では、笑って楽しい時間を過ごして終わっている。①職員が一定期間、毎回高座発表する継続がポイント。⇒個人が座布団に座ると、やる!と肚をくくって主体的になっていく。②毎回の発表で、利用者から拍手を浴びて、嬉しい声がかかる事は喜びと自信になる。③発表によって、日常使いのハードルが下がり、話しやすくなって活用の手応えをつかみ、利用者も和み、職員間でも楽しい言葉と関係性が積み重ねられていく。

アピールポイント

江戸小唄は笑いを作る必要がない。あるもので誰でも出来る。読んでも簡単、利用者も笑って満足度が高く、何度でも一緒に笑える。経費が安く効果が大きい。歌が嫌いな男性や表情の硬い方にも受け入れられやすい。江戸小唄は「事業所の強み、差別化」ができる。

さらに、可能な施設では上句と下句(オチ)を取る「江戸小唄かるた取り」で童心にかえて遊んで(15分)、レクの最後に「いやさか江戸小唄体操(5分)」を毎回取り入れて好評だ。また、1つの江戸小唄をA4で笑いの展示をすれば会話が始まり、ほかにクイズレク、円形に座ったゲームレク、簡単な小唄からの楽しい寸劇レクの実践など応用が可能で、工夫次第でアレンジの幅が広い。



「紙で作れる!輪ゴムでっぼう」 について

成蹊大学

学生ボランティア本部Uni.

ゲームの内容紹介

A4用紙とセロハンテープだけで輪ゴムでっぼうを作りました。

的も紙だけで作れます。

私たちのブースでは輪ゴムでっぼう制作をして、的あてゲームを行います。

的あてゲームは様々な種類の的を撃ちぬいてもらいます。

大きい的、小さい的の他にランダム的があります。

これは倒すまで点数がわかりません。しかも、プラスだけでなくマイナスもあるので運も必要になります。

高齢者向けに工夫した点

二点工夫があります。

一つ目は制作難易度を選ぶことができます。

これによってどなたでも作りやすく、てっぼう作りも楽しめるようになっています。

二つ目は的 です。

的は倒すことによってはじめて点数が分かる仕組み

になっています。

点数はプラスだけではなくマイナスもあり、実力と運が必要になっています。

この二つの要素によって自分に合った難易度を選ぶことができ、年齢関係なく楽しめるゲームを目指しました。

特に苦労した点

難易度と面白さを両立することができるかに苦労しました。

材料を割りばしではなく、紙を使うことや的を大きくするなど難易度を下げるに関しては簡単でした。

しかし、テストを行ったところ単調で面白みのないゲーム体験になってしまいました。

そこで手を加えたのが的 です。

通常的的に加え、倒すまで点数がわからないランダム的を追加しました。

これによって誰でも楽しめる難易度にすることができました。

離れていても笑顔は繋がる

—コロナ禍を経た行事 Before/After—

特別養護老人ホームさくらえん

介護福祉士: 阪部雄馬 岡田瑛莉

目的

新型コロナウイルス流行前、さくらえんではご利用者・家族・地域の方々が集い、賑やかな行事を行っていた。しかし感染拡大により、面会制限や行事中止で交流の機会は激減し、寂しさや不安の声も多く聞かれた。私たちは形を変えつつ、人とのつながりと笑顔を守り続けてきた。コロナ禍を経てその尊さを実感し、これからも笑顔が広がる場であり続けるさくらえんの取り組みを紹介する。

コロナ禍前の行事コンセプト

ご利用者・家族・地域の方々が集い、交流し、笑顔あふれる賑やかな時間を創出する。

コロナによってできなくなったこと

触れ合うこと・食事を共にすること・歌うこと・表情でのコミュニケーション(マスク越し)

人と人との交流が制限され、行事や面会、地域との交流も途絶え、当たり前につながりが失われた。

コロナによる変化

	コロナ前	コロナ禍の工夫
面会	自由に来園し、直接会って交流	窓越し・アクリル板越しの面会、ウェブ面会
外出	制限なし。外食やお花見、地域の催しにもお出かけ	施設内のテラスを散歩／お花見は近隣で人と関わらず短時間
クラブ活動	音楽、園芸、料理、カラオケ、書道、手芸	飛沫が飛ぶカラオケ、調理は中止／他は少人数で実施
納涼祭	ご利用者・家族・地域の方が大勢集い、櫓を囲んで盆踊り	中止。ご利用者・職員のみで祭り風レクリエーション。提灯飾りと法被で雰囲気演出
餅つき	ご利用者・家族・地域の方が集い、外で実施	各フロアに杵と臼を設置。紅白幕で雰囲気演出し、ご利用者・職員のみ少人数で実施
クリスマス会	大勢集まったのクリスマス会やケーキづくり	職員による音楽隊がフロアをまわり、音楽を届けて季節感を演出
初詣	神社へ参拝	宮司を招いて施設内で祈願

コロナによってできなくなったこと

コロナ禍を経て、さくらえんでは地域のお祭り出店や会食サービス、家族介護支援プログラム、いきいき体操などを通じて、一度は途絶えた地域との交流を深めている。納涼祭には800名近くが来園し、櫓を囲んで子どもや地域の方々、ご利用者が笑顔で盆踊りを楽しめるようになった。かつては「あたりまえ」だった面会や行事も、コロナ禍では制限され失われていた。しかし今は面会も自由となり、家族との時間を心ゆくまで過ごせるようになった。

この経験を通して、私たちは人とのつながりが決して当たり前ではないことを実感し、だからこそその絆をより大切にしたいと強く思うようになった。笑顔を広げる場所であり続けたいという想いを胸に、これからも歩み続けていく。



SHIIP.LLC 設立からの軌跡

～設立から今日まで、そしてこれからの展望～



概要・目的

2022年11月7日に代表の石岡と本部長の山本でSHIIP.LLCを設立、2月に訪問介護ステーションえ～とすを開設。社員の平均年齢も28歳と比較的この地域では若い事業所で、従業員一人一人の人生の目標を一緒に考え、仕事を「志事」に変えていく事で心から笑える仲間と共に各々の志しのもと、楽しみや笑いをご利用者様に笑顔として提供できるケアをしている。SHIIP.LLC【会社組織】として、え～とす【事業所】として、それぞれの取り組みがBS【従業員満足度】向上を図ることによるCS【顧客満足度】に繋がっていくかを取り組んだ。

【具体的な取り組み内容の現状と結果】

—SHIIP.LLCとして取り組み—

1. 研修

福祉に関わる事だけでなく社会人として必要な知識やマナー等200種を超える研修を用意。社外研修として骨格診断や介護美容の講習なども受講できるため、幅広い視点から自身と向き合い、最新の技術や情報など視野を広く持つことでサービスの質・知識・技術の向上が現場でのご利用者様やご家族の小さな要望や希望への気付きへと繋がっている。

2. 働き方自由度改革

正社員を始め、常勤や登録ヘルパー等、個々に合った働き方を自由に組み立てる事が可能である。福利厚生ではアニバーサリー休暇やシャワー室の完備、さらにお菓子や飲み物やウォーターサーバーの設置など、過ごしやすい環境の整備。また資格取得の支援も積極的にスケジュールや勤務調整にも対応可能である。

従業員一人一人のライフスタイルに合わせた働き方を

訪問介護 訪問介護ステーションえ～とす

管理者 二木恒星

社員 中島智紀

実現する事で大きくBS【従業員満足度】の向上に繋がっている。

3. 広報

日々のSNSでの情報発信をはじめ、Web雑誌や地元情報誌などの取材を受ける機会が増え会社の認知度の向上につながっている。

—え～とすとして取り組み—

1. 地域活動

地元商店会【西祥会】として地域のお祭りやイベントへの参加や今年は武蔵野市共催のケアオリンピック武蔵野の実行委員長を務める等、地域福祉の活性化や貢献に力を入れている。

2. 他業種交流

福祉業界各社と交流を深め、得意分野を共有しあい、連携を図ることで地域の医療・福祉の活性化や貢献にも力を入れてよりよい支援を実施できる事を目指している。

3. 若い人材

武蔵野市最年少事業所を目指すべく、若手の採用を積極的にする事で体力が必要とされるケアはもちろん、多くのご利用者様に若手ならではのケアを提供し喜んでいただく事ができる。

アピールポイント

介護のイメージを変え「カッコいい」「楽しい」「稼げる」「おもしろい」「必要とされる」このような、みんなが憧れる介護士になれるのがえ～とすの特徴である。従業員一人一人が会社を作っていく意識で働いています。一緒に武蔵野市から介護の常識やイメージを変えていきましょう。

通所リハビリから広げたい 地域との交流にチャレンジ中



目的

老人保健施設の役割の一つに「地域貢献活動」があり、地域の方との交流を深め、施設と地域の連携を強化する目的がある。当施設はコロナ禍の2020年4月に開設したため、繰り返し発生するクラスターの中、「コロナ禍での感染対策」と「地域との交流」の真逆の課題に試行錯誤しながら「地域とつながり、地域の皆さんにとって安心して頼れる施設を目指す」という目標に向けて、取り組んできた活動を紹介する。

具体的な取り組み方法

■2024年度 感染対策を考慮して、まずは屋外での密にならない活動より開始

①ローソンへの買い物リハビリ

近所のコンビニに連絡し、事前に買い物に行くこと、人数、時間帯をお伝えした。希望者を募り1ヶ月かけて実施。感染対策として1回を20分、3人程度とし、密にならない様に店内で職員が買い物ルートを誘導しながら行った。

結果：久しぶりの買い物に喜ばれていた。事前に金額を500円程度としたので何をかうか考えながら行うことで充実感を得られた。

②桜野小前で下校時の旗振り

学校に連絡し、実施期間は10月・時間帯は下級生の下校時刻に合わせ14:45～15:15とした。1回3人程度、マスク着用して行った。

結果：子どもたちとの交流を楽しむことが出来た。役割を持つことで普段活動的でない方も外に出ることができ笑顔も見られた。

■2025年度 施設内での活動をまずは通所リハビリより開始

③武蔵野市立第二中学校吹奏楽部のミニコンサート

武蔵野市立第二中学校吹奏楽部の有志アンサンブルグループ(Septuplet)の皆さんをご招待しミニコンサート

介護老人保健施設 サンセール武蔵野

理学療法士 南部 誠

理学療法士 山口 芳子

看護師 清水 由佳

を開催。室内での開催となるため感染対策を徹底した。事前の検温・健康チェック・手指消毒後に入場、演者と利用者の間隔を2m以上あけるように設定して実施した。結果：生の楽器演奏による精神安定・賦活活動、懐かしい曲による回想法、子どもたちとの交流、中高生の高齢者・障がい者理解の場を提供することができた。

④いきいきサロンとのポッチャ大会(延期)

6月開催予定が、コロナ感染者が出たため中止

⑤クラブ活動「ポッチャを楽しむ会」開始に伴いボランティアの受け入れ解禁

ポッチャ大会に向けて練習をするためボランティア3名来ていただき、紅白戦や練習を行った。ボランティア受け入れ規則を作成し、ボランティア受け入れを開始した。

結果：施設内での試合では敵味方に分かれるが、外部との試合に向けて1つのチームとなり団結力が上がった。

■現在計画中の活動

⑥ハーブの会(10/1予定)

ハーブかなでの皆様と利用者様有志でのハンドベルとの共演も計画中。

⑦いきいきサロンポッチャ大会(11/26予定)

結果と考察

・交流やイベントに参加するために利用日を振り替えるなど稼働率の向上につながっている。

・運動だけでなく活動・参加に取り組んできたことが利用者数の増大につながっている。

・地域との交流を図ることや役割を持つことで、充実感・自己肯定感の向上につながり、サンセールでの交流をきっかけに自分でも新たな活動や再挑戦のきっかけづくりができた。

・学校や地域のグループとの交流は、最初のきっかけや企画をすることが大変だったが、1度交流し顔が見える関係になると2回目は開催しやすくなったと感じた。



2階特別企画

■ RB-SOULダンスパフォーマンス

武蔵野市内のダンススクールRB-SOUL(ラブソウル)の子どもたちが、元気いっぱいのダンスで介護に携わるみなさんを応援します。



■ KID～介護・医療連携ダンス～

有名アーティストのバックダンサー経験のある花さんとのコラボ。介護と医療に携わる皆さんがダンスでまちぐるみの支え合いを表現します。



■ 介護系インフルエンサー はたつんによるスペシャル企画

会場のみなさんも一緒に音楽体操レクに参加し、その様子をSNSに投稿します。

音楽体操の練習から行いますので、お気軽にご参加ください!



スタンプラリー

スタンプラリー開催!介護を楽しく学びましょう!

2階(スイングホール)と11階(レインボーサロン)のブースをめぐるスタンプラリーを開催します!

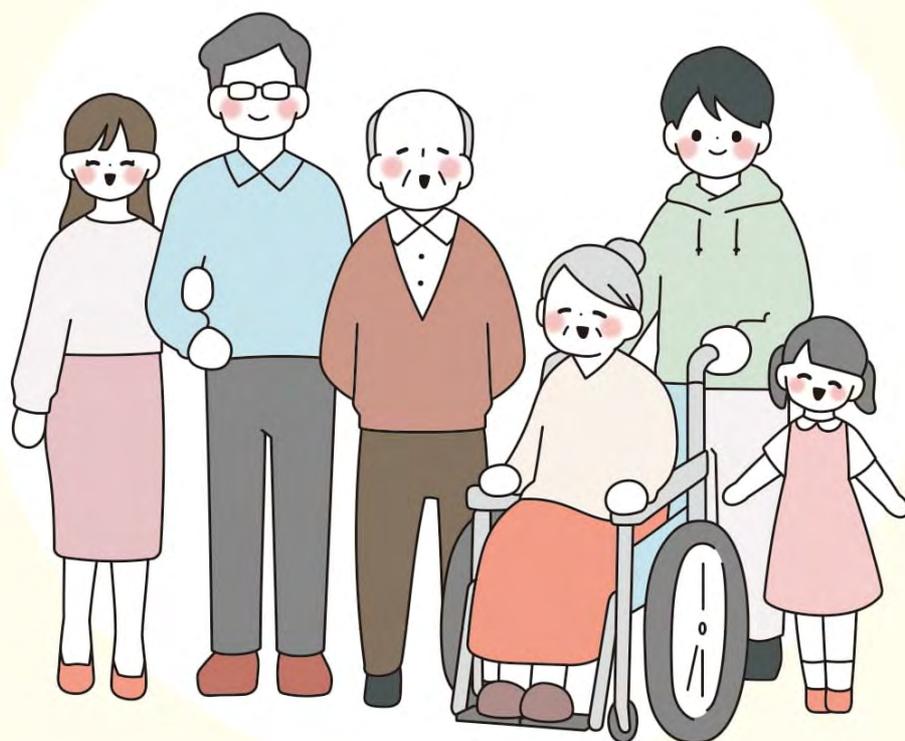
いろいろなブースを訪れて、介護について「知って」「体験して」「学んで」スタンプを集めましょう!

スタンプを集めたら、ゴールの2階(スイングホール)ケアリンピック受付で素敵な景品をプレゼント!

どなたでも楽しんで参加いただけます。ぜひ、皆様ご参加ください!

※スタンプの設置場所は会場図をご確認ください。



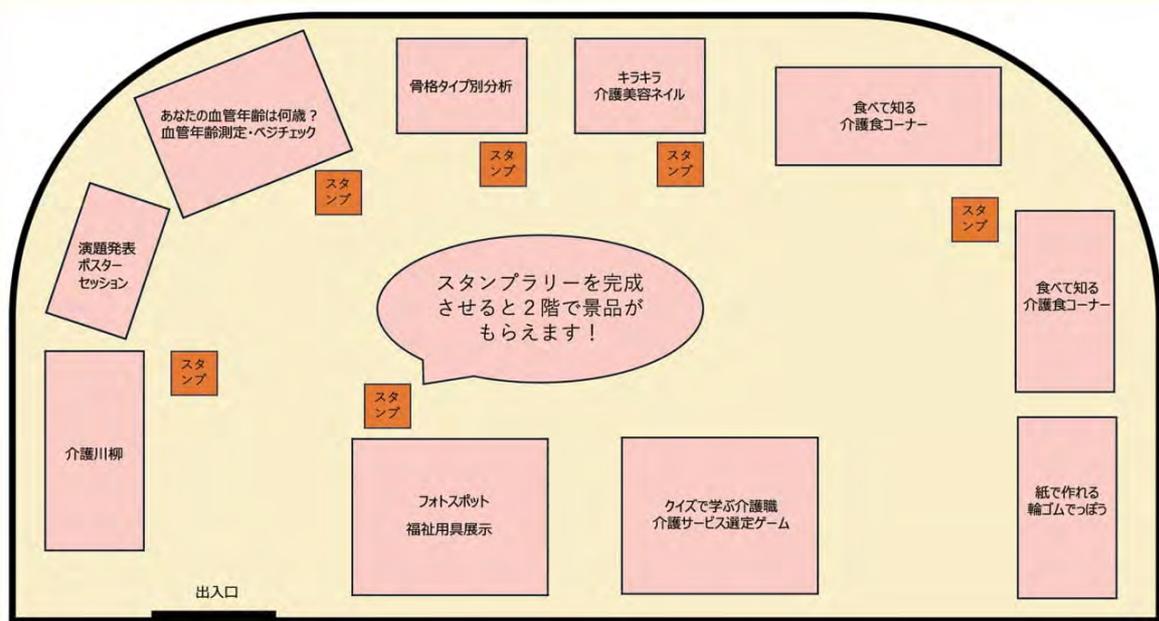




出展・展示コーナー

フロアマップ

11階 レインボーサロン



フロアマップ(各ブースの説明)

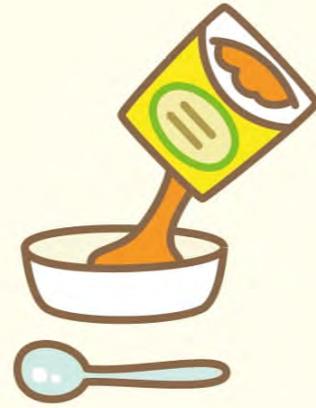
- 食べて知る 介護食コーナー
おいしく、栄養と食べやすさが考えられた「食」の面から、介護の世界を知る。
- あなたの血管年齢は何歳？
血管年齢や野菜の摂取量を測定。
- 介護川柳の展示
皆さんから募集した川柳の展示。
- 福祉用具展示
車いす・スロープ・自助具などが出展。
- キラキラ介護美容・ネイル
高齢者でも楽しめるネイル、ハンドマッサージを体験。
- フォトスポット
福祉用具と一緒に写真が撮れるスポット。
- 介護サービス選定ゲーム
子どもから大人まで、ゲーム感覚で介護のサービス内容や種類を学ぶ。
- 紙で作れる!輪ゴムでっぽう
輪ゴムでっぽうでの的あてにチャレンジ。腕前と運を試す。
- 骨格タイプ別分析
介護する・される側、共に知っておくためになる、自分の骨格タイプを分析。
- 演題発表 ポスターセッション
話しきれない魅力あふれる取り組みを、ポスターで展示。



食べて知る 介護食コーナー

介護業界における「食」に力を入れている企業が出展します。栄養バランスを考慮しつつおいしい食事を楽しめる介護食の試食ができます。

また、少量で栄養素をおいしく摂れる飲料、飲み物や食べ物に簡単に“とろみ”を付けられるとろみ調整食品、被災時の健康維持に役立つ安心で美味しい食品、健康成分「カカオポリフェノール」を含んだチョコレートなどを紹介しています。より良い明日をつくるためのヒントがありますので、皆さまぜひお越しください。



【協力】 ○ワタミ株式会社 ○株式会社伊藤園 ○ビジョントヒラ株式会社
○株式会社ベジタルアドバンス ○株式会社明治

あなたの血管年齢は何歳？ 健康チェック

健康は大切だけど、ひとりで何かをはじめたり、続けるのは難しいもの。

また、健康増進の取り組み方は人それぞれです。

だから、一人ひとりの健康づくりに寄り添い、いっしょに取り組むことで、地域のみなさまの「健康に向けた前向きな活動」＝「健活」を応援していきます。

血管の丈夫さや日ごろの野菜摂取レベルなどを気軽にチェックできますので、ぜひ足をお運びください。

【協力】 ○明治安田生命保険 相互会社



介護川柳の展示

介護の仕事をしている方やご家族の介護をされている方、介護サービスを利用されている方等、多くの方からご応募いただいた川柳を展示します。

「ほっとするエピソード」や「介護現場で働く人の励みになる」ような、心の温まる川柳をぜひご覧ください。

【市民賞の投票】

来場された方にはお気に入りの川柳に投票いただき、得票数が最も多い川柳を市民賞受賞作品として表彰します。あわせて、実行委員賞、審査委員賞、はたつん賞各1作品とケアリン賞2作品の表彰を行います。

投票は午前中まで受け付け、表彰式は午後2時15分から2階スイングホールで行う予定です。



福祉用具展示

介護に携わる方だけではなく、一般の方やこれから介護に携わる方、福祉用具の利用を検討されている方、そのご家族に向けて、介護に役立つ福祉用具(車いす、スロープ、自助具)を展示します。

実際に触れて体感できますので、お気軽にお立ち寄りください。

【協力】 ○株式会社 Five Trees 陽だまり福祉用具



キラキラ介護美容・ネイル

【介護美容】という言葉をご存知ですか？

美容を日常に取り入れることで、笑顔が増えたり、生きる活力が生まれたりする——そんな活動を【介護美容】と呼びます。

今回は、ご自宅でも手軽に取り入れられる美容法として、ペン型マニキュア「ネイルペン」をご紹介します。

水性で匂いがなく、除光液を使わずにはがせるので、小さなお子様からご高齢の方まで安心してお楽しみいただけます。

介護という枠にとらわれず、誰もが日常の中で“キレイ”を楽しめる時間を、ぜひご体験ください。



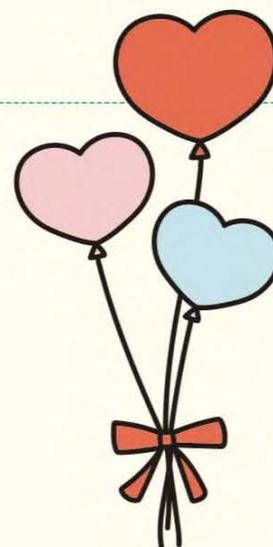
【協力】 ○ラヴィーナ 株式会社

フォトスポット

福祉用具と一緒に写真が撮れるフォトスポットを用意しています。

福祉用具の体験と合わせてぜひお立ち寄りください。

【協力】 ○フランスベッド株式会社 メディカル田無営業所



介護サービス選定ゲーム

介護サービスの種類、サービス内容などを知っていただくゲーム企画です。ガイドブックを参考に、高齢者それぞれに合わせたサービス内容を考えることができます。

子どもから大人まで、どなたでも楽しめます。



紙で作れる！輪ゴムでっぼう

紙で作られた輪ゴムでっぼうでのあてにチャレンジ！
シンプルだけど、思わず夢中になるあてゲームを体験
できます。

大小さまざまな的に加えて、ちょっとドキドキの「ランダ
ム的」も登場。

この的は、倒すまで点数がわからない…！しかも、プラス
だけじゃなくマイナスもあるから、運も味方につけよう！
お子さまからご高齢の方まで、誰でも気軽に参加できる
紙工作ゲームです。

ぜひあなたの腕前と運を試しに来てください！



【協力】 ○成蹊大学学生ボランティア本部Uni.

骨格タイプ別分析

骨格のタイプによって向き不向きな動作が存在する事をご存知ですか？

今回は簡単な骨格分析を体感いただけます。

腰痛や肩こり、歩き方の癖等、なんでもご相談ください。

【協力】 ○一般社団法人 GIFT協会



演題発表 ポスターセッション

様々な介護現場で市民生活を支え続けている専門職達が、武蔵野市の地域として目指す目標に沿った取り組みを紹介し、互いに研鑽し、称賛するプログラムです。

2階スイングホールでプレゼンテーションが実施され、11階レインボーサロンでは取り組みをまとめたポスターが展示されます。

【展示内容(敬称略)】

○NPOグレースケア

ゆるく愉しく つなガレッジセール

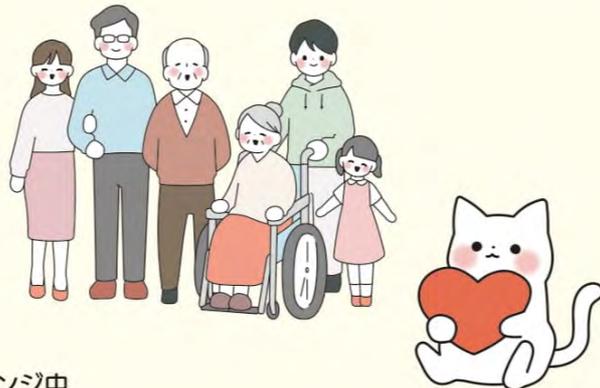
○訪問介護ステーションえ〜とす

SHIIP.LLC 設立からの軌跡

～設立から今日まで、そしてこれからの展望～

○介護老人保健施設 サンセール武蔵野

通所リハビリから広げたい地域との交流にチャレンジ中







武蔵野市事業者 連絡会紹介

武蔵野市居宅介護支援事業者連絡協議会

武蔵野市居宅介護支援事業者連絡協議会は、会員(ケアマネジャー100名以上)が、介護保険制度における事業の円滑な運営や事業者の資質・サービスの向上を図ることを目的として、研修会や情報交換会等を行ったり、武蔵野市のケアマネジャーの皆さんが働きやすい職場環境作りを目指して、市と定期的に意見交換会を行っています。また、事業者の枠を超えた多職種連携を図る活動として、武蔵野市・医療・介護・福祉関係団体が開催する各委員会へ当会幹事を派遣し、情報共有と連携を行っています。2025年には団塊の世代が75歳に達し、日本の総人口の2割を占める見込みです。私たちは、支援が必要になった方やそのご家族の生活を支えるケアプランを作成し、武蔵野市が掲げる『誰もが、いつまでもいきいきと健康に、一人暮らしでも認知症になっても、誰もが住み慣れた地域で生活できる。』を信念に地域の皆さまと協力し、支えあいながら介護予防や重度化防止の支援を行っています。地域の皆さま、会員の皆さま、今後ともよろしくお願い申し上げます。



武蔵野市訪問介護事業者連絡会議

武蔵野市訪問介護事業者連絡会議は、介護保険やその他の制度の訪問介護に関わる事業者の連絡会です。月に1度の幹事会で各種の提言や情報共有を行っています。また在宅医療・介護連携推進事業の各部に幹事が参加し訪問介護の立場で発言しています。

訪問介護事業者連絡会議は今年もケアオリンピック武蔵野2025に積極的に参加し、会より選出した実行委員2名がケアオリンピック武蔵野2025実行委員会で様々な提言を行い、準備してきました。

今後も「広げよう!まちぐるみの支え合い」の精神を大切に市民の皆様とふれあい、地域貢献をしていきます。



武蔵野市訪問看護・訪問リハビリテーション 事業者連絡会議

訪問看護師と訪問リハビリの専門職（作業療法士・理学療法士・言語聴覚士）が隔月に会議を開催し、サービス上の問題等についての検討や最新情報の共有を行っています。また武蔵野市との協議と連携、そしてサービスの質向上のための研修も実施しています。その他、毎年9月の防災月間には、事業者連絡会で作成した防災チェックシートを使って防災への意識づけ、そして日々の備え等の確認とアドバイスをしています。チェックシートの中では武蔵野市の避難行動支援でも

ある「災害時要援護者」についての項目も設け紹介しています。地震や自然災害も多くなっている中、高齢世帯や独居の方も安心して生活出来るよう一緒に考える機会は大切と考えます。これは私たちにとっても対策を見直す機会となっています。会議や市との協議、連携、そして防災チェックなどこれを通して「住み慣れた地域で自分らしく生活できる」を支えていきます。



武蔵野市通所介護・通所リハビリテーション 事業者連絡会議

武蔵野市通所介護・通所リハビリテーション事業者連絡会は、市内で通所介護サービスや通所リハビリテーションサービスを受けている高齢者等の皆様が、安心して質の高いサービスを受けられるよう、事業者の連携とサービスの向上を目指して活動しています。

地域の事業所が協力し合い、日々のケアの質の確保や従事者の資質向上に取り組むことで、ご利用者である高齢者の皆様が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう支援しています。

定期的な会議では、介護現場の課題について意見交換を行い、より良いサービス提供に向けて解決策を模索しています。

誰もが必要な時に適切な介護サービスを受けられる地域社会の実現を目指して、事業者と行政が協力し合い活動している連絡会です。



武蔵野市介護老人福祉施設長会

武蔵野市は介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）が7カ所あります。各施設の施設長が協議事項、報告事項、情報提供など定期的に会議を開催しています。

武蔵野市内介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

施設名	住所	電話番号	施設種類
吉祥寺ナーシングホーム	〒180-0001 武蔵野市吉祥寺北町2-9-2	0422-20-0869	多床室・従来型個室
ゆとりえ	〒180-0003 武蔵野市吉祥寺南町4-25-5	0422-72-0311	多床室・従来型個室
武蔵野館	〒180-0014 武蔵野市関前2-16-5	0422-36-7700	多床室・従来型個室
親の家	〒180-0011 武蔵野市八幡町3-4-18	0422-55-0507	多床室・従来型個室
ケアコート武蔵野	〒180-0023 武蔵野市境南町5-10-7	0422-39-0390	ユニット型個室
さくらえん	〒180-0021 武蔵野市桜堤2-8-31	0422-51-5550	ユニット型個室
とらいふ武蔵野	〒180-0014 武蔵野市関前1-2-20	0422-38-5221	ユニット型個室



武蔵野市PT・OT・ST協議会

武蔵野市PT・OT・ST協議会は、市内の理学療法士、作業療法士、言語聴覚士で組織されたリハビリ専門職の団体です。活動内容は、研修を開催して知識、技術の向上を図る事。専門知識を生かして、市民の皆様や他分野への講習などを行っています。

私たちは、病気や怪我、加齢などにより運動機能が低下した方々に対して、動作能力の回復や、生活の質の向上を目指して専門的なリハビリテーションを提供しています。病院だけでなく、介護施設、訪問リハビリテーション、健康増進施設など、市民の皆様の身近な場所で活動の場を広げております。

人生100年時代と言われる今日、いくつになっても自分らしく、活動的な毎日を送ることは、誰もが願うことでしょう。私たちは、皆様が住み慣れた地域で、安心して、そして生き生きと暮らせるよう、専門職として全力でサポートさせていただきます。

福祉用具事業者連絡会議

介護保険制度の福祉用具貸与・購入に関わる事業者の連絡会です。

現場での問題点などを、各事業者がどう取り組んで改善しているか、それぞれが案を持ち寄り、全体で共有し、最善の解決策を目指し、協議しています。市内の催し物にも積極的に協力しています。



お問合せ

相談

福祉用具選定

商品説明

納品

契約

アフターサービス
モニタリング

引きあげ

相談

洗浄・消毒・修理

管理・保管

・ご希望の生活は？
・お困りごとは？
・お身体の状況は？
・ご自宅の環境は？
などを踏まえて、適切な福祉用具を選定致します。



各事業者は常に利用される方の立場に立ったサービスの提供に努め、適正な指定福祉用具を提供し、より良い日常生活を送っていただけるよう支援していくことを目的としています。また、それぞれの専門分野を持ち、日々研鑽を積むことでより良いサービス提供ができるよう常に心掛けています。





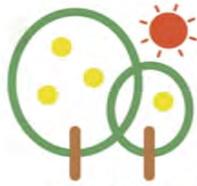
ケアオリンピック武蔵野のあゆみ

ケアオリンピック武蔵野は平成27年から開催しています。

第1回	2015年(平成27年)12月12日	
第2回	2016年(平成28年)11月26日	
第3回	2017年(平成29年)11月18日	
第4回	2018年(平成30年)12月1日	
第5回	2019年(令和元年)11月23日	
	2020年(令和2年)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
第6回	2021年(令和3年)11月27日	オンライン中継(動画配信)で開催
第7回	2022年(令和4年)11月19日	事前申込による会場とオンライン配信のハイブリッドで開催
第8回	2023年(令和5年)12月2日	ケアオリンピック武蔵野専用ホームページ作成 アーカイブとして後日視聴を可能とした
第9回	2024年(令和6年)11月30日	構成劇とシンポジウムを実施 会場フロアを増やして企画を拡充し、規模を拡大
第10回	2025年(令和7年)11月29日	インフルエンサーや地元ダンススクールの参加など、より幅広い来場者層に介護を知ってもらう機会を目指した取り組みを実施



協 賛



陽だまり 福祉用具



武蔵野 訪看

一般社団法人
GIFT協会
自然、社会、人への
感謝
を传えます
GIFT理論
〒115-8522 東京都港区分町1丁目22-2
増ビル5F (むさし介護アカデミー内) ☎042-349-6444

Since1984
Silver City Series
市内で3ホーム運営 武蔵境・武蔵野・むさしの櫛館
介護付有料老人ホーム
シルバーシティ シリーズ
管理・運営 武蔵野 武蔵野シルバーサービス

お困りごとから お楽しみまで
NPOグレースケア

Since1984
Silver City Series
暮らしに彩りを、五感に刺激を。
介護付有料老人ホーム
シルバーシティ 武蔵野
管理・運営 武蔵野 武蔵野シルバーサービス

コートローレル

SHIIP,LLC
いつもの笑顔がある生活を続ける為に、
いちばん近い他人(専門家)がお手伝いします。
訪問介護ステーション え〜とす

訪問看護ステーション
ささえ

一般社団法人
江戸小唄
つながりコーチング

社会福祉法人徳心会
さくらえん

Visiting Nursing Station KEYAKI
訪問看護ステーションけやき

ティーオン訪問看護ステーション

協 賛

住み慣れた街でいつまでも



公益財団法人
武蔵野市福祉公社



ピジョンタヒラ株式会社



RAVEENA

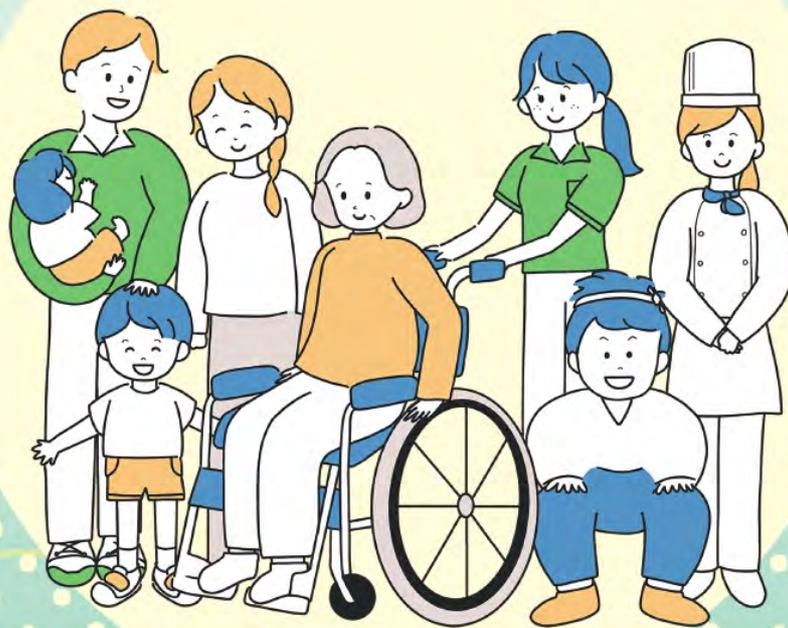


自然が好きです。



まごころ込めて、また明日。





主催：ケアリンピック武蔵野2025実行委員会

共催：武蔵野市